


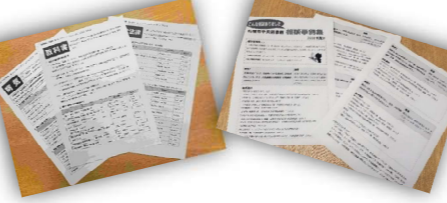
第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和3年度（2021年度））

検査 : 検査 一部(試行)実施 本格実施



No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和3年度（2021年度）の取組結果（成果・課題）		参考（グラフ・写真・ホームページ等）	取組時期（年度）																					
				令和3年度（2021年度）	令和4年度（2022年度）の取組目標		2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2	2021 令和3											
基本方針1 市民の生活や活動に役立つ図書館																												
◆施策の方向性1◆ 幅広い分野の資料の収集																												
1	図書館サビ係	蔵書構成の再構築	限られた財源の中で、幅広く役立つ本を収集するために、次の手順を踏む ◆現状構成の分析 ⇒選定決定手順見直し ⇒選定基準の見直し（複本・保存・更新も含む） なお、全館に関わる事柄であるため、プロジェクトを設立してH24年度末（2012年度末）を目途に検討	【令和3年度（2021年度）取組結果】 平成26年度（2014年度）策定の「蔵書構成の再構築に向けて」の基本方針の実現のため、次のとおり資料の資料の収集選定を行った。 ・令和3年度に制定された「札幌市図書館資料選定基準」「札幌市えほん図書館資料選定基準」「札幌市図書館・情報館資料選定基準」「札幌市図書館資料選定会議要綱」に基づき資料収集を図った。 【令和4年度（2022年度）取組目標】 ○引き続き制定された基準に沿った資料収集を進めるとともに、寄贈図書の有効活用により、限られた財源の中でのタイトル数確保を図る。	【蔵書構成の推移】 2011 3% 7% 12% 5% 7% 3% 1% 29% 24% 0% 2021 3% 7% 12% 5% 7% 3% 1% 28% 25% 0% 0% 20% 40% 60% 80% 100% 総記 哲学 歴史 社会科学 自然科学 技術・工学 産業 芸術 言語 文学 児童書 その他	プロジェクトによる検討	試行実施 要領改正	決定に基づき、逐次収集 蔵書構成の動向と収集計画案の提示	蔵書構成の動向と収集計画案の提示による収集	蔵書構成の動向による再構築の検証	新たな収集計画に基づく蔵書収集																	
2	調査相談係	郷土・行政資料の積極的な収集	◆現状分析（内部調査実施済） ◆公文書館と連携し、郷土・行政資料を確実に収集 ◆地区図書館、区民・地区センター図書室と連携した郷土・行政資料の収集方針の検討・改善	【令和3年度（2021年度）取組結果】 ○郷土・行政資料の収集は地区図書館等、公文書館含め、多方面から積極的に情報収集を行い、遺漏がないよう努めた。札幌市出身団体・企業史等の発行情報収集に留意したほか、札幌市のみでなく、市政に生かせるような道内市町村独自の発行物も幅広く収集した。道と連携し行政資料収集を推進した。 【令和4年度（2022年度）取組目標】 ○引き続き、郷土・行政資料の発行情報把握に努め、公文書館、地区図書館等との連携を継続していく。また、道行政情報センターと引き続き連携していく。	【郷土資料数】 92,566点(平成24年度末(2012年度末)) →116,092点(令和3年度末(2021年度末)) デジタルライブラリー 札幌市図書館HP「デジタルライブラリー」	現状分析 検討・強化	検討結果に基づき、多様な方法により積極的に収集し、配架する。	従来の行政資料の収集に加え、出資団体、指定管理受託者の出版物の積極的収集を推進する。	地区図書館、まちづくりセンター、公文書館等からの情報収集による地域資料の積極的収集。（地域住民が保有している古い資料や地域独自作成の資料、地域情報等の資料収集）	北海道庁の協力による道行政資料収集																		
3	調査相談係	視聴覚資料の継続的な収集	◆機器更新（H23年度（2011年度））を踏まえ、新メディア（ブルーレイディスク等）への対応推進 ◆所蔵点数増加に伴う貸出点数増の検討	【令和3年度（2021年度）取組結果】 ○R3年度新規登録点数（R3.4.1～R4.3.31）CD：中央図書館ほか4館計750点 DVD（中央図書館のみ）67点。 ○図書館用著作権許諾のブルーレイディスクの発売は現在も不透明な状態が続いており、現時点では購入には至らない。 【令和4年度（2022年度）取組目標】 ○視聴覚資料の増加に伴い、保存場所の確保を検討。 ○図書館用として著作権許諾されたブルーレイディスクの発売は、将来的に不透明な状態が続いており、今後の動向を注視していく。	【視聴覚資料数の推移】 (点) 2012 14,327 2013 15,037 2014 16,195 2015 17,224 2016 17,567 2017 17,892 2018 18,256 2019 18,432 2020 18,604 2021 18,809 CD カセット ビデオ DVD LD	機器更新	新メディア（ブルーレイ）への対応検討の継続	視聴覚ブースの将来展望の検討	ちえりあ所蔵CDとの合体貸出。（約10000点）	視聴覚資料収集方針の検討	貸出点数の検討																	
◆施策の方向性2◆ 分かりやすく、使いやすい情報提供																												
4-①	調査相談係	レファレンス(※1)資料の充実・機能向上とサービスの周知	◆オンラインデータベースの拡充と来館者への開放 ◆各種ガイド・リスト・レファレンス資料の提供（紙媒体とHP版）	【令和3年度（2021年度）取組結果】 ○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月4日から9月30日まで商用データベースの提供を中止していたが、昨年よりも商用データベースの利用件数は微増する結果となった。 ○パスファインダー(※2)については情報更新を3件行い、紙媒体での交付及びホームページ上で公開した。 ○市民の暮らしをサポートする「暮らし応援棚」の周知を図るため、新たに「新着コーナー」を2階図書室の入口付近に設置。また、既存書棚裏の空きスペースを使って「暮らし応援棚」に関するトピックを集めた「暮らし応援棚情報コーナー」も設置した。 【令和4年度（2022年度）取組目標】 ○図書・情報館と連携し、商用データベースの利用促進を図る。 ○パスファインダーを適宜見直し、情報の更新を行う。 ○「暮らし応援棚」の充実を目指し、利用者のニーズを探る。 ○臨時休館時に合わせたオンラインレファレンスの実施を検討する。 ○レファレンス実例を展示する等、レファレンスサービスの周知を行う。	暮らし応援棚 中央図書館2階「暮らし応援棚」	オンラインデータベースの拡充と来館者への開放 ・紙媒体作成、Web版準備	来館者がオンラインデータベースを利用しやすい環境づくりを行い、利用の促進を図る。	パスファインダーの計画的新規作成	パスファインダーの改訂作業	パスファインダーHP版の運用開始・紙媒体との棲み分け確立	暮らしの応援棚の設置、充実																	
4-②	図書・情報館	レファレンス(※1)資料の充実・機能向上とサービスの周知	◆オンラインデータベースの拡充と来館者への開放 ◆各種ガイド・リスト・レファレンス資料の提供（紙媒体とHP版）	【令和3年度（2021年度）取組結果】 ○新聞・雑誌の記事や論文、法令、企業・業界情報など、様々なデータベース（24種）を用意し、起業を考える来館者やビジネスパーソンが利用できるようにしている。データベース席の稼働率は前年比114%と増加した。 ○起業関連セミナーにおいて、図書・情報館の活用方法を案内する際、データベースの種類や概要も紹介した。 ○セミナーのテーマに合わせて、調べものに役立つブックリストを作成し、配布した（10回のセミナーで各々作成）。 ○リサーチカウンター相談件数 合計1,999件 2階開館1日あたり9件は前年並（※4月～3月実績、利用案内は除く） 【令和4年度（2022年度）取組目標】 ○データベースの利用を促進するために、セミナーでの紹介やSNS、動画などを活用した情報提供を引き続き行う。 ○新たにデータベースの紹介と活用を題材としたセミナーを行うことで、新規の利用者を獲得を狙う。	リサーチカウンター(図書・情報) 中央図書館2階「暮らし応援棚」	オンラインデータベースの拡充と来館者への開放	来館者がオンラインデータベースを利用しやすい環境づくりを行い、利用の促進を図る。	開館準備	供用開始	セミナーや展示のテーマに合わせたブックリストの作成、配布																		
5	調査相談係	非来館型レファレンスサービスの充実	◆メールレファレンスの検討と開始 ◆HP（ホームページ）上でレファレンス事例集・FAQ・パスファインダーを提供	【令和3年度（2021年度）取組結果】 ○メールレファレンスの件数は昨年と比べると微減している。ただし、令和2年度も3年度もそれぞれ新型コロナウイルスによる休館があり、件数に影響があったと思われる。 ○HP上では26件のレファレンス事例を公開した。今後も、興味深い内容の事例を厳選して公開していく。 ○パスファインダー(※2)については情報更新を3件行い、紙媒体での交付及びホームページ上で公開した。 【令和4年度（2022年度）取組目標】 ○メールレファレンスの回答の質の向上を図っていく。 ○パスファインダーを適宜見直し、情報の更新を行う。 ○ホームページ上でレファレンス事例の公開を継続して行う。	メールレファレンス検討 レファレンスデータの蓄積	メールレファレンスの提供、回答の質の向上を図る。	HPから入るメールレファレンスの表示を見やすくして利用者を増やす。	HP上でレファレンス事例を提供、事例公開の継続	HP上でパスファインダーを提供、新規作成および改定の実施	セミナーやイベント開催時にレファレンスのPRを実施																		

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和3年度（2021年度））

：検討 ：一部(試行)実施 ：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和3年度(2021年度)の取組結果(成果・課題)	令和4年度(2022年度)の取組目標	参考(グラフ・写真・ホームページ等)	取組時期(年度)															
							2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2	2021 令和3					
10	えほん図書館	電子書籍貸出サービスの推進	◆デジタルネイティブ世代への普及・啓発 ◆さっぽろデジタル絵本事業	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ◆デジタルネイティブ世代への普及・啓発 ○デジタル紙芝居を活用した年齢別おはなし会、幼稚園・保育園等向けおはなし会(団体利用)、デジタル機器を活用した「デジタル絵本ワークショップ」を開催する予定だったが、R3年度はコロナ禍により行事はすべて中止となった。 ◆さっぽろデジタル絵本事業 ○「さっぽろ絵本グランプリ」(2019年度第4回で廃止)の過去の受賞作品を引き続き電子図書館で提供 ○大正期絵本・絵雑誌等をデータ化したものを電子図書館にて提供 ○ブックリストを電子図書館にて提供	【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○AR撮影イベントなど、デジタル関連事業を実施する。 ○これまで実施してきたさっぽろ絵本グランプリ受賞作品等の市民への周知を推進 ○大正期絵本・絵雑誌等をデータ化したもの、ブックリストを電子図書館において提供																	
11	調査相談係	情報リテラシー支援	◆資料・情報調査に関するパンフレット・マニュアルの整備 ◆資料・情報調査に関する講座を開催	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○パスファインダー(※2)については情報更新を3件行い、紙媒体での交付及びホームページ上で公開した。 ○R2年度中に受けた事例4件をまとめたレファレンス事例集を発行し、紙媒体で配布した。HP上では26件のレファレンス事例を公開した。	【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○パスファインダーを適宜見直し、情報の更新を行う。 ○昨年度分のレファレンスをまとめたレファレンス事例集を発行する。		パンフレット・マニュアル等の整備と一部提供開始															

基本方針2 本・人・文化を結ぶ図書館

◆施策の方向性1◆ — 新たな文化との出会いの場の提供 —																					
12	地域支援係	講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性(蔵書)を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ(図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開) ◆子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信(利用者の知的好奇心に応える事業展開)	【令和3年度(2021年度)取組結果】 〈児童向け行事〉 日本ハムファイターズ読書推進全道キャンペーン(北海道主催)への参加協力 〈児童・一般向け行事〉 カルチャーナイト「密着!図書館の一日」 ※YouTubeでのオンライン 〈一般向け行事〉 感染症の影響が続き、参加者を集めての講演会は「美術への誘い」(一般社団法人北海道美術協会の共催)1度の実施のみだったが、コンテンツクリエイターの藤原麻里菜氏を講師に招いた講演会を動画配信で行うことができた。 なお、サイエンス・フォーラムinさっぽろ(サイエンス・コンソーシアム札幌主催)は実施を見送った。 【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○より一層の他団体との連携を図るとともに、様々な年代の利用者が興味を持ち図書館へ来館するきっかけづくりとなるような行事・展示の内容充実を図っていく。		カルチャーナイト動画	一部実施														
12	地域支援係・図書館サービス係	講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性(蔵書)を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ(図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開) ◆子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信(利用者の知的好奇心に応える事業展開)	【令和3年度(2021年度)取組結果】 〈子ども向けの行事・展示〉 ぬいぐるみのお泊り会1回、本のおたのしみ袋4回、おすすめ本POPコンテスト1回 展示5回(乗り物・旅の絵本、夏の本等)、ミニ展示10回(おうちじかん、トラブルから身を守ろう、チャイルドライツ等)、国際交流員によるおすすめ本の展示2回 〈中学・高校生向け行事・展示〉 常設展示テイクオフ(時代小説、スポーツの小説、伝記、図書館職員のおすすめ本等)、おすすめ本POPコンテスト1回 〈一般向け展示〉 事業No13-①と同じ 【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○平成27年度(2015年度)から中高生向けの本のコーナー(ティーンズの森)を立ち上げ中高生向けサービスに力を入れており、引き続き中高生向けの行事・展示の充実を図っていく。 ○一般向け展示の詳細は、事業No13-①のとおり		展示の様子	一部実施														






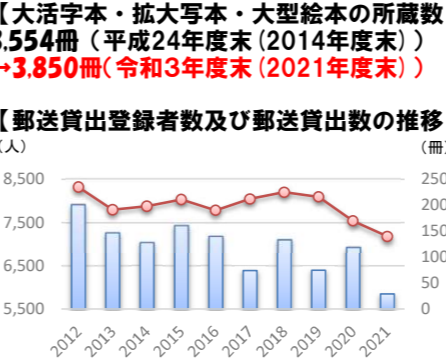
第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和3年度（2021年度））

検査 一部(試行)実施 本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和3年度(2021年度)の取組結果(成果・課題)		参考(グラフ・写真・ホームページ等)	取組時期(年度)													
				令和3年度(2021年度)の取組結果	令和4年度(2022年度)の取組目標		2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2	2021 令和3			
12-③	調査相談係	■講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味・関心の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性(蔵書)を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ(図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開) ◆子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信(利用者の知的好奇心に応える事業展開)	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○一般向け行事 新型コロナウイルスの影響で講堂を使った一般向けのイベントは中止。 ○一般向け展示 北海道の新聞の歴史をひもときながら、令和2年度に寄贈を受けた号外原紙とともに北海道の出来事をふりかえる所蔵資料特別展示「新聞に見る北海道アラカルト」、「シベリア抑留関連資料」による資料展示(「終戦の夏〜女性たちの戦禍〜」)、ミニ展示(「さっぽろの喫茶店・カフェの魅力」「北の現代建築」)「もって嬉しい!食べて美味しい!!北海道の名菓・名品」、「のぞいてみようディープな世界 専門・業界の雑誌・新聞」「いのちをつなぐ 北海道の畜産」「郷土のかきた」「かわい?こわい?熊」「北の建築史」) 【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○一般向け行事 所蔵資料特別展示関連講演会(内容未定)、暮らしに役立つ情報探索セミナー、暮らしの課題解決セミナー ○一般向け展示 所蔵資料特別展示(内容未定)、さっぽろ資料室ミニ展示月1回程度(「ちよこつと自給自足のすすめ」ほか)	参考(グラフ・写真・ホームページ等) ●特別展示「新聞に見る北海道アラカルト」 ●さっぽろ資料室ミニ展示「もって嬉しい!食べて美味しい!!北海道の名菓・名品」	一部実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	社会の動きや市民の関心の高いテーマに関する講演会や展示の検討、実施	他団体との連携した事業の実施	えほん図書館、図書・情報館関連の行事や展示の取組										
12-④	えほん図書館	■講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味・関心の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性(蔵書)を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ(図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開) ◆発達段階に応じた子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信(利用者の知的好奇心に応える事業展開)	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○行事等について ・年齢別おはなし会等、当初予定していた集合型行事については、新型コロナウイルスの影響で全て中止 ・5周年記念行事として、親子参加型事業の「えほん図書館の宇宙に 君の星をかがやけよう★」を実施(令和3年10月23日~令和4年1月20日、参加者延べ約4,000人以上) ・白石区地域振興課と連携して、札幌国際短編映画祭ファミリー&チルドレン部門受賞作の上映と英語絵本の読み聞かせを内容とした「しるっぴーキッズシアターミニ in えほん図書館」を開催(開催日:令和4年3月5日、参加者:26組62人(大人29人、子ども33人)) ・「ヨムくんの動画」(図書館デビュー代替企画)の制作・配信(4回:令和3年8月5日、9月18日、11月15日、令和4年3月4日配信) ○「めざせ!えほんマイスター」の継続実施 小学校入学前までに絵本を1,000冊読むことに挑戦するプログラム「めざせ!えほんマイスター」を実施(H30.4開始) ・R3年度新規登録者=386人(全登録数2,691人) ・R3年度1000冊到達者=114人(全達成者数493人) ○展示について たなばたの絵本展、ハロウィンの絵本展、クリスマスの絵本展など18回。 【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○行事等について 新型コロナウイルスの感染状況に応じて、年齢別おはなし会、図書館デビュー、ぬいぐるみおとまり会、各種ワークショップ、ボランティア団体によるおはなし会、団体向けプログラム(幼稚園等向けおはなし会付き団体利用)を段階的に拡大して再開 ○「めざせ!えほんマイスター」の継続実施 ・より多くの子どもたちに登録してもらうため、新規登録キャンペーンを実施 ○展示について はなのえほん展、お正月の絵本展、ひなまつりの絵本展など19回を予定	参考(グラフ・写真・ホームページ等) ●5周年記念行事(ぬい絵風景) ●5周年記念行事(ガラス面) ●ヨムくん動画	一部実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年齢に応じたサービスプログラムの開発と実施 乳幼児・保護者向け行事の実施 ○年齢別おはなし会 ○図書館デビュー ○ぬいぐるみお泊り会 ○絵本講座 ○ボランティア講座 ○各種ワークショップ ○めざせ!えほんマイスターの実施(H30~) など	幼稚園・保育園などの団体利用の受け入れ											
12-⑤	図書・情報館	■講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味・関心の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性(蔵書)を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ(図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開) ◆知の拠点としての情報発信(利用者の知的好奇心に応える事業展開)	【令和3年度(2021年度)取組結果】 コロナウイルスの影響によるイベント自粛の影響のため、月2本実施の目標は達成できなかったが、感染症対策を取りつつ全12回実施した。 また、コロナウイルスの影響による対面イベント自粛に対応できるよう、オンラインセミナーのスキームを新たに策定した。 ○Work(仕事に役立つ)関連 起業に役立つセミナーやビジネススキルの向上につながるセミナーを開催した。10回開催。 「オフィスの書類ぜんぶ片づける大作戦 ~書類整理ではじめる働き方改革~」「ソーシャルビジネスセミナー in SAPPORO」「Books for Change~好きはすべての原動力~」「五感で味わう詩の空間~カフェが紡ぐ心地よい場づくりのヒント~」「知って得する!これからの働き方情報カフェ女性のための起業のヒント」「はじめての創業セミナー」「創造都市連携作戦会議」「もっと知りたい『副業』~自分にあった副業を考える~」「起業実現にむけた上手な相談のしかた」 ○Life(暮らしを助ける)、Art(芸術に触れる)関連 暮らしの課題解決に役立つセミナーや芸術に関するセミナーを開催した。2回開催。 「もう悩まなくていい。チムチムさんのレシピの法則」「ひらめくDESIGN~ひらめきから生まれるオリジナルのデザイン」 【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○引き続き、専門機関と連携を深め、ビジネスパーソンを中心に図書・情報館の各種サービスに興味を持ってもらえるような、または起業や仕事に役立つセミナーを実施する。 ○専門団体と連携し、暮らしの課題解決に役立つセミナーや利用者のニーズに沿ったセミナーを開催する。 ○対面イベントの自粛の可能性に対応し、オンラインセミナーを積極的に活用、または併用する。	参考(グラフ・写真・ホームページ等) ●「オフィスの書類ぜんぶ片づける大作戦」セミナー	一部実施	開館準備	Work(仕事に役立つ)、Life(暮らしを助ける)、Art(芸術に触れる)に関連したセミナーの実施	関係団体と連携したセミナー等の実施											
13-①	図書館サービス係	■テーマ別の図書展示の実施	◆関心の喚起を狙った資料の再編成・複合化及び貴重資料・特殊コレクションの公開 ◆実展示とウェブ上での展示の効果的、複合的な利用 ◆展示資料のリスト等作成による資料利用の促進、関心喚起	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○1階図書室の展示回数21回(「鉄道の旅・出発進行」「ノーベル賞120年」「図書館が舞台の作品」「図書館員のおすすめ本」など) ○テーマを決め1日のみ展示を行う日替わり展示の回数33回(「ヨムくん誕生日」「カレーの日」など) ○新刊を十分に購入できない中で、書庫の本が利用者の目に触れる機会を増やすため、テーマに沿った本の中でも、新旧取り揃えた展示となるよう心掛けた。また、興味をもたれるように展示の方法も工夫する取り組みを行った。 【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○札幌市各局との「図書館を活用した連携事業」を継続しつつ、「一日展示」など、利用者の関心をひく展示の取り組みを実施する。	参考(グラフ・写真・ホームページ等) ●図書室の展示「ノーベル賞120年」(中央図書館)	展示スペース更新	各分野において図書館および資料への理解をすすめる、関心を喚起する図書室展示	行事や講座と関連した図書室展示 各分野において図書館および資料への理解をすすめる、関心を喚起する図書室展示	図書館内リニューアルにて展示スペースの更新	図書館を活用した札幌市各局との連携事業と連動した展示等の実施										

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和3年度（2021年度））

：検討 ：一部（試行）実施 ：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和3年度（2021年度）の取組結果（成果・課題）	参考（グラフ・写真・ホームページ等）	取組時期（年度）												
				令和4年度（2022年度）の取組目標		2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2	2021 令和3		
13	②	調査相談係	■テーマ別の図書展示の実施 ◆関心の喚起を狙った資料の再編成・複合化及び貴重資料・特殊コレクションの公開 ◆実展示とウェブ上での展示の効果的、複合的な利用 ◆展示資料のリスト等作成による資料利用の促進、関心喚起	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○北海道の新聞の歴史をひもときながら、令和2年度に寄贈を受けた号外原紙とともに北海道の出来事をふりかえる所蔵資料特別展示「新聞に見る北海道アラカルト」を実施。 例年のさっぽろ資料室ミニ展示は、毎月テーマを変えて開催した（「さっぽろの喫茶店・カフェの魅力」「北の現代名建築」「もたらって嬉しい！食べて美味しい！北海道の名菓・名品」、「のぞいてみようディープな世界 専門・業界の雑誌・新聞」ほか）。 ○毎年、終戦時期に合わせて実施している「シベリア抑留関連資料」の資料展示「終戦の夏～女性たちの戦禍～」を実施した。 ○展示リストを作成配布、HPに公開した。	 ●「シベリア抑留関連資料」の資料展示「終戦の夏～女性たちの戦禍～」	各分野において図書館および資料への理解をすすめる、関心を喚起する図書室展示 郷土資料の展示室展示で貴重資料公開 各分野において図書館および資料への理解をすすめる、関心を喚起する図書室展示 展示リストの配布と館内HPへの公開												
	③	図書・情報館	■テーマ別の図書展示の実施 ◆関心の喚起を狙った資料の再編成・複合化及び貴重資料・特殊コレクションの公開 ◆実展示とウェブ上での展示の効果的、複合的な利用 ◆展示資料のリスト等作成による資料利用の促進、関心喚起	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○2階アート展示では、「芸術なのか落書きなのか」「ストリート・ミュージック×ストリート・ファッション」「デザインから見る、図書・情報館」「異なる視点で見るアート～装丁編～」と題した展示を行ったほか、札幌市民交流プラザ催事と連携し「能×VR」「パレオ「白鳥の湖」という展示を実施。計10回。 ○1階、2階展示架では、札幌市関連行事との連携展示として「WALK WITH JAZZ ージャズにあうまち」「SCARTS×SIAFラボ×図書・情報館 都市と自然とデータとたち」、関係専門団体と共催で実施したイベントテーマに関連した展示や、札幌市民交流プラザのイベントと連携した展示、また、当館の特徴であるセミナー連携の展示などを実施した。計17回。 ○セミナー会場内でセミナーに関連する図書（共催団体の推薦本や司書選書の図書）を展示した。 ○司書が今一番読んでほしい図書をトピック別に選書し、集積させた棚「本のハコニワ」を継続展示。入替数34回。 ○司書の「人」が見える、リアルならではの企画展示として、「知のかけら」（年度内入替数8回）「知のひらめき」（同2回）を継続展示。	 ●「NoMaps」との連携（図書・情報館）													
	14	地域支援係	■図書館見学や職場体験の充実 ◆司書体験や館内ツアーの多様化の検討と実施	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○総合学習・職場体験等7回198人	 ●中学校による総合学習	インターンシップ・職場体験の積極的受入 インターンシップ・職場体験の積極的受入 小学生向け図書館オリエンタリング 中・高校生向け図書館オリエンタリングの検討と試行 館内ツアー多様化の検討 中・高校生向け図書館オリエンタリングの受け入れ 館内ツアーの受け入れ												
◆施策の方向性2◆ 誰もが利用しやすい施設の整備とサービスの充実 ◆																		
15	総務係	■案内表示等の充実 ◆表示や設備のユニバーサル化について、H23年度（2011年度）に中央図書館で実施 ◆地区図書館についてはH24年度（2012年度）以降に中央館とのサイン表示の統一も視野に入れた検討と実施を行う。	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○地区図書館の案内表示の充実を図るため、引き続き検討を継続した。	 ●案内表示の改良（東札幌図書館）	中央図書館実施 地区図書館検討													
	16	情報推進担当係	■電子システムの更新 ◆蔵書検索システム・業務システムの改善（子ども～高齢者まで使いやすい）、電子書籍貸し出し機能、SAPICAへの図書貸出券機能付加	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○平成元年度に行った蔵書検索・予約システムの機器の入れ替えとシステムの更新を受け、安定的なシステム稼働を目指して更新システムに残る不具合について修正等の対応を継続した。	 ●図書館システム機器点検	基本設計 開発 新システム稼働（運用保守、システム改善、不具合対応） えほん図書館開設に伴う改修の計画と実施（ICタグ、自動貸出機） 図書・情報館開設に伴う改修の計画と実施 次期更新に向け情報収集システム改善事項検討 基本設計 更新作業												
17	図書館サービス係	■高齢者がいる方向けの資料の充実と利用環境の整備 ◆出版状況の調査やボランティア団体との連携による大活字本・拡大写本・大型絵本等の収集充実 ◆拡大読書器や宅配貸出の充実、視覚障がい者等に対応したWebサービスの導入	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○大活字本・拡大写本所蔵冊数：3,550冊 ○大型絵本：159冊、超大型絵本：141冊 ○郵送貸出登録者140人（R2(2020)比30人減）、郵送貸出冊数5,848点（R2(2020)比1,089点減） ○LLブックコーナーの充実	 ●【大活字本・拡大写本・大型絵本の所蔵数】3,554冊（平成24年度末（2014年度末））→3,850冊（令和3年度末（2021年度末）） ●【郵送貸出登録者数及び郵送貸出数の推移】 (人) (冊) 8,500 7,500 6,500 5,500 250 200 150 100 50 0 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 ■ 郵送貸出冊数 ■ 郵送貸出登録者数	大活字本等の出版目録による収集強化とボランティア団体が制作する拡大写本の収集 障がい者対応（HPの文字の拡大、音声読み上げソフトに対応） ○拡大読書器の更新（H30(2018)） LLブックコーナーの設置													
	18	図書館サービス係	■視覚障がい者情報センターとの共有と発信 ◆視覚障がい者へのサービス充実に向け、情報センターとの意見交換と研修の推進 ◆障がい者向けサービス掲載のパンフレット配布など、情報センター利用者へのPRを強化	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○オンライン形式の「障害者サービス担当職員養成講座」を図書情報専門員1名受講 ○点訳用資料の特別貸出を実施		相互の業務を理解するため、意見交換と研修を継続的に実施 視覚障がい者情報センターと連携・協力したPR媒体の作成と配布												




第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和3年度（2021年度））

緑色：検討 青色：一部(試行)実施 赤色：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和3年度（2021年度）の取組結果（成果・課題）		参考（グラフ・写真・ホームページ等）	取組時期（年度）																				
				令和3年度（2021年度）の取組結果（成果・課題）	令和4年度（2022年度）の取組目標		2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2	2021 令和3										
◆ 施策の方向性3 ◆ — 子どもの読書環境の充実 —																											
19-①	地域支援係	■普及事業の充実	幼児～高校生の読書促進施策の充実 ◆子ども向け行事の充実（ボランティアとの協働、全館行事の強化） ◆毎年度ごとに、子ども読書チャレンジプロジェクトの企画更新を続ける	【令和3年度（2021年度）取組結果】 ○こどもの読書週間（4/23～5/12）及び読書週間（10/27～11/9）に係る全館特別行事、年間を通して様々な行事を行う子ども読書チャレンジプロジェクトの実施を予定していたが、感染症の影響により多くの行事の実施を見合わせた。 【小学生向け行事】春のビンゴまつり、本のおたのしみ袋、ぬいぐるみのお泊り会【中学生向け行事】おすすすめPOPコンテスト 【令和4年度（2022年度）取組目標】 ○令和4年度（2022年度）中に策定するさっぽろ読書・図書館プラン2022の取り組みとして、これまでの実績を踏まえた上で、新たな取組みやレベルアップをオンラインの活用も含めて行い、さらに効果ある事業となるように検討し、実施していく。 ○書き終わった「読書ノート」を提示することで、称号入り缶バッジ等がもらえる「めざせ！子ども館長」の継続実施	○令和4年度（2022年度）中に策定するさっぽろ読書・図書館プラン2022の取り組みとして、これまでの実績を踏まえた上で、新たな取組みやレベルアップをオンラインの活用も含めて行い、さらに効果ある事業となるように検討し、実施していく。 ○書き終わった「読書ノート」を提示することで、称号入り缶バッジ等がもらえる「めざせ！子ども館長」の継続実施	 ●本のおたのしみ袋	第1期子ども読書チャレンジプロジェクト																				
19-②	えほん図書館	■普及事業の充実	乳幼児の読書促進施策の充実 ◆親子で絵本に親しむきっかけづくりの場の提供 ◆図書館を利用する習慣がない乳幼児の来館機会の創出	【令和3年度（2021年度）取組結果】 ○行事等について ・年齢別おはなし会等、当初予定していた集合型行事については、新型コロナウイルスの影響で全て中止 ・5周年記念行事として、親子参加型事業の「えほん図書館の宇宙に 君の星をかがやけよう★」を実施（令和3年10月23日～令和4年1月20日、参加者延べ約4,000人以上） ・白石区地域振興課と連携して、札幌国際短編映画祭ファミリー&チルドレン部門受賞作の上映と英語絵本の読み聞かせを内容とした「しろっぴーキッズシアターミニ in えほん図書館」を開催（開催日：令和4年3月5日、参加者：26組62人（大人29人、子ども33人）） ・「ヨムくんの動画」（図書館デビュー代替企画）の制作・配信（4回：令和3年8月5日、9月18日、11月15日、令和4年3月4日配信） ○「めざせ！えほんマイスター」の継続実施 小学校入学前までに絵本を1,000冊読むことに挑戦するプログラム「めざせ！えほんマイスター」を実施（H30.4開始） ・R3年度新規登録者＝386人（全登録数2,691人） 【令和4年度（2022年度）取組目標】 ○行事等について ○新型コロナウイルスの感染状況に応じて、年齢別おはなし会、図書館デビュー、ぬいぐるみお泊り会、各種ワークショップ、ボランティア団体によるおはなし会、団体向けプログラム（幼稚園等向けおはなし会付き団体利用）の実施を段階的に拡大して再開 ○「めざせ！えほんマイスター」の継続実施 ・より多くの子どもたちに登録してもらうため、新規登録キャンペーンを実施	○令和4年度（2022年度）中に策定するさっぽろ読書・図書館プラン2022の取り組みとして、これまでの実績を踏まえた上で、新たな取組みやレベルアップをオンラインの活用も含めて行い、さらに効果ある事業となるように検討し、実施していく。 ○書き終わった「読書ノート」を提示することで、称号入り缶バッジ等がもらえる「めざせ！子ども館長」の継続実施	 ●しろっぴーキッズシアターミニ in えほん図書館  ●「めざせ！えほんマイスター」	第2期子ども読書チャレンジプロジェクト ○図書館デビュー																				
20-①	地域支援係	■図書展示やブックリストの充実	◆こどもの森内での時節や季節に応じた展示を充実し、児童生徒の読書への関心を喚起する ◆ミニ展示中の資料をリスト化して配布するほか、Web上でも公開する	【令和3年度（2021年度）取組結果】 ○時節に応じた展示・装飾をこどもの森内で実施。 【令和4年度（2022年度）取組目標】 ○引き続き児童・生徒の興味・関心を喚起するような展示テーマを選択するとともに、効果的な展示を行っていく。 ○館内にて配布している人気シリーズ本のリストを更新し、HP上で公開する。	○令和4年度（2022年度）中に策定するさっぽろ読書・図書館プラン2022の取り組みとして、これまでの実績を踏まえた上で、新たな取組みやレベルアップをオンラインの活用も含めて行い、さらに効果ある事業となるように検討し、実施していく。 ○書き終わった「読書ノート」を提示することで、称号入り缶バッジ等がもらえる「めざせ！子ども館長」の継続実施	 ●こどもの森（中央図書館） 展示（12月の様子）	各種展示の継続とPRの強化、一般資料展示との連携 関係団体作成の読書関連リストの展示と、ミニ展示における展示資料リストの作成 図書館内リニューアルによるこどもの森の展示の充実 ぬいぐるみのお泊り会等の行事と連携したおすすすめ本の紹介や展示 発達段階に応じた資料の充実へのステップとするヤングアダルト関連本の展示																				
20-②	えほん図書館	■図書展示やブックリストの充実	◆対象年齢別、テーマ別に おすすめの絵本を紹介	【令和3年度（2021年度）取組結果】 ○「年齢別」「テーマ別」におすすめ絵本を紹介するブックリスト2種の配布及び電子図書館における公開 ○館内の特設展示コーナーやジャケット架にて、子どもに身近な季節やテーマ等の絵本を紹介する展示を定期的に入れ替えながら実施している。「たなばたの絵本展」「ハロウィンの絵本展」「クリスマスの絵本展」等（18回） 【令和4年度（2022年度）取組目標】 ○R3年度（2021年度）の取組を継続実施	○令和4年度（2022年度）中に策定するさっぽろ読書・図書館プラン2022の取り組みとして、これまでの実績を踏まえた上で、新たな取組みやレベルアップをオンラインの活用も含めて行い、さらに効果ある事業となるように検討し、実施していく。 ○書き終わった「読書ノート」を提示することで、称号入り缶バッジ等がもらえる「めざせ！子ども館長」の継続実施	 ●ブックリスト  ●特設展示「ハロウィン」	対象年齢別のおすすめ絵本の紹介ブックリストの作成 本の紹介や展示																				
21-①	地域支援係	■発達段階に応じた図書、資料の充実	◆児童書研究資料の充実や各種目録を参考にした蔵書の充実 ◆児童サービス関係研修への参加や関係機関との情報交換等による児童担当職員の育成	【令和3年度（2021年度）取組結果】 ○引き続き児童研究資料を購入し充実を図った。外部講師（プログラミング教育実践者）を招いて児童サービス研修を実施した。当日受講できなかった職員や学校司書を対象として動画配信も行った。 【令和4年度（2022年度）取組目標】 ○児童研究資料の充実を図る。 ○外部講師を招いての児童サービス研修を予定している。	○令和4年度（2022年度）中に策定するさっぽろ読書・図書館プラン2022の取り組みとして、これまでの実績を踏まえた上で、新たな取組みやレベルアップをオンラインの活用も含めて行い、さらに効果ある事業となるように検討し、実施していく。 ○書き終わった「読書ノート」を提示することで、称号入り缶バッジ等がもらえる「めざせ！子ども館長」の継続実施	 ●児童研究室（中央図書館）	児童研究資料の充実等による適切な資料収集と、利用者に対する的確なアドバイスの実行 関係機関が主催する研修等への積極的参加と児童サービス関係者との意見交換によるスキルアップ 児童担当による出前講座での絵本読み聞かせ講義 児童担当による職員への絵本の読み聞かせ講義、子どもへの読み聞かせの検討と実施																				
21-②	えほん図書館	■発達段階に応じた図書、資料の充実	◆絵本文化に係る一般向け資料の計画的収集 ◆絵本への理解を深めることのできる蔵書環境の整備	【令和3年度（2021年度）取組結果】 ○令和3年度（2021年度）は以下のとおり資料を追加・更新 ・新刊絵本は、子どもの年齢別に必要なもの約970冊 ・既刊絵本は、紙芝居を含めて約250冊 ・絵本に関する一般書を約30冊 ・絵本に関する雑誌を約140冊 ○館内の特設展示コーナーやジャケット架にて、子どもに身近な季節やテーマ等の絵本を紹介する展示を定期的に入れ替えながら実施しているほか、年齢別、テーマ別のおすすめ絵本をブックリストで紹介。 【課題】 ○開館から5年が経過し、絵本の損耗が進み、修理や買換えする必要がある本が増加。 【令和4年度（2022年度）取組目標】 今後は、開架スペースの状況を見据え、新刊の購入数は減らし、既刊絵本の購入数を増やして蔵書の更新ができるようにしていく。また、今後も館内の特設展示コーナーやジャケット架での絵本の紹介展示を展開していくと共にブックリストを活用し、来館者への情報提供に努めていく。	○令和4年度（2022年度）中に策定するさっぽろ読書・図書館プラン2022の取り組みとして、これまでの実績を踏まえた上で、新たな取組みやレベルアップをオンラインの活用も含めて行い、さらに効果ある事業となるように検討し、実施していく。 ○書き終わった「読書ノート」を提示することで、称号入り缶バッジ等がもらえる「めざせ！子ども館長」の継続実施	 ●特設展示「お正月&とら」  ●特設展示「北海道展」	資料の充実 作品情報を展示、ブックリスト等で紹介 年齢別のお話会の実施等																				

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和3年度（2021年度））

緑色：検討 青色：一部(試行)実施 赤色：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和3年度(2021年度)の取組結果(成果・課題)		参考(グラフ・写真・ホームページ等)	取組時期(年度)															
				令和3年度(2021年度)の取組結果	令和4年度(2022年度)の取組目標		2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2	2021 令和3					
22	地域支援係	障がいのある子ども向け資料の充実	◆点字絵本、LLブック等のほか、関係団体との連携による適切な資料の研究と充実 ◆障がい児等に対応したWebサービスの導入	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○電子媒体による資料の充実を引き続き進めた。 ○来館困難な児童に対して、郵送、宅配により図書を配本。 ※登録者数140人(うち12歳以下3人)、貸出冊数5,711冊、視聴覚資料137点(冊数・点数は、児童を含むサービス利用者全体) ○LLブックコーナーの充実	【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○関係団体との連携強化と電子媒体による資料の充実を図っていく。	 ●LLブックコーナー ●更新した「拡大読書器」	関係団体との連携・資料の研究 障がいのある子ども向け図書の研究と収集、関係団体との連携 情報環境の研究 障がい児対応サービス(HP上の文字の拡大、音声読み上げソフト対応) ○拡大読書器の更新(H30(2018)) LLブックコーナーの設置															
23-①	地域支援係	外国語の子どもの向け資料の充実	◆洋書絵本等の充実 ◆多文化理解のための各種行事の実施	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○洋書絵本所蔵数3,172冊 ○国際交流員によるおすすめ本の紹介、展示(2回)。	【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○外国語絵本による児童向け読み聞かせ又は展示等により、異文化理解を促進を図る。	 ●洋書絵本所蔵数	英語圏のほか、多様な言語文化圏の資料を収集し、目録作成と所蔵のPR 大学・海外交流団体等との連携による資料展示の実施	英語圏のほか、多様な言語文化圏の資料を収集し、目録作成と所蔵のPR 大学・海外交流団体等との連携による資料展示 外国語による読み聞かせ等各種行事の実施														
23-②	えほん図書館	外国語の子どもの向け資料の充実	◆洋書絵本等の充実	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○外国語の絵本は、英語絵本を中心に主な絵本各賞の受賞作品や札幌市の姉妹都市の言語である英語、中国語、韓国語、ドイツ語、ロシア語等の約926冊を収集・提供している。 (蔵書冊数内訳は、英語596冊、ドイツ語35冊、韓国語24冊、ロシア語20冊、中国語219冊、その他の言語32冊)	【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○引き続き絵本の賞の受賞作品等を参考にしながら、来館者のニーズに応えることができるよう情報収集し、未就学児向けの英語絵本等の収集に努めていく。	 ●外国語絵本のコーナー	えほん図書館への姉妹都市コーナーの設置・準備	英語圏のほか、多様な言語文化圏の資料を収集														

基本方針3 広く情報を発信し、市民とともに成長する図書館

◆施策の方向性1◆ 積極的な情報発信													
24	総務係	ホームページや広報印刷物の充実	◆HPのコンテンツの充実を図る(ブックリストの掲載、近郊都市や大学研究機関の図書施設との相互リンクの作成など) ◆広報物の内容・種類の充実を図る。	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○HPでは分かりやすい情報発信に努めた。 ○図書館広報誌(中央図書館だより)の発行を行った。 ○各図書館だよりの発行。	【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○HPコンテンツの拡充及び有効な情報発信方法について検討する。	HP改修(レイアウト変更及び行事ページの充実) HPのコンテンツを順次拡充 広報印刷物の内容・種類の見直し、充実 HPのスマートフォン対応及びデザインリニューアルを行った。 図書館広報誌の発行について検討す	HPのリニューアル及びコンテンツを順次拡充 図書館広報誌(中央図書館だより)の発行を行った。						
25-①	地域支援係	普及事業の充実	読書に対する興味を一層広げるため、人と文化の新たな出会いの場を設ける。 ◆札幌にゆかりのある郷土史関係の研究者等の講演会などを行いながらネットワークを構築していく。 ◆札幌市各局や大学・関係機関との連携により、市民生活に役立つ講座を開催しながら関連分野の図書紹介も行う。	【令和3年度(2021年度)取組結果】 〈児童向け行事〉 日本ハムファイターズ読書推進全道キャンペーン(北海道主催)への参加協力 〈児童・一般向け行事〉 カルチャーナイト「密着!図書館の一日」 ※YouTubeでのオンライン 〈一般向け行事〉 感染症の影響が続き、参加者を集めての講演会は「美術への誘い」(一般社団法人北海道美術館協会との共催)1度の実施のみだったが、コンテンツクリエイターの藤原麻里菜氏を講師に招いた講演会を動画配信で行うことができた。 なお、サイエンス・フォーラムinさっぽろ(サイエンス・コンソーシアム札幌主催)は実施を見送った。	【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○図書館での実施意義を念頭に置きながらも、様々な機関との連携を積極的に進め、多様な情報発信事業の開催に努める。	 ●美術への誘い(北海道美術館協会との共催)	年度ごとに事業の柱を立てて実施 社会的動きや市民の関心の高いテーマに関する普及事業の検討・実施						
25-②	調査相談係	普及事業の充実	読書に対する興味を一層広げるため、人と文化の新たな出会いの場を設ける。 ◆札幌にゆかりのある郷土史関係の研究者等の講演会などを行いながらネットワークを構築していく。 ◆札幌市各局や大学・関係機関との連携により、市民生活に役立つ講座を開催しながら関連分野の図書紹介も行う。	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○北海道の新聞の歴史をひもときながら、令和2年度に寄贈を受けた号外原紙とともに北海道の出来事をふりかえる所蔵資料特別展示「新聞に見る北海道アラカルト」を実施。 ○所蔵資料を活用したミニ展示を全8回実施したほか、随時資料展示を実施。	【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○10月に所蔵展示と関連講演会(内容未定)を実施。2階図書室ミニ展示を月1回程度実施。	 ●特別展示「新聞に見る北海道アラカルト」	年度ごとに事業の柱を立てて実施 社会的動きや市民の関心の高いテーマに関する普及事業の検討・実施						

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和3年度（2021年度））

緑色：検討 青色：一部(試行)実施 赤色：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和3年度(2021年度)の取組結果(成果・課題)		参考(グラフ・写真・ホームページ等)	取組時期(年度)												
				令和3年度(2021年度)の取組結果(成果・課題)	令和4年度(2022年度)の取組目標		2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2	2021 令和3		
◆ 施策の方向性2 ◆ — 市民との協働 —																			
26-①	総務係	■満足度や評価についての調査の継続	◆日々利用者から寄せられる苦情・要望の分析(アンケートフォーム、市民の声を聞く課を通じた要望等)◆これらについて、取りまとめた結果を公表(図書館協議会、WEB)	【令和3年度(2021年度)取組結果】 〇日々寄せられるご意見・ご要望を取りまとめ、HP上で公表した。	【令和4年度(2022年度)取組目標】 〇日々寄せられるご意見・ご要望を取りまとめ、HP上での公表を継続する。ご意見箱への投書に対する回答の随時館内掲示。	【満足度の推移(中央図書館及びえほん図書館、地区図書館)】 	日々寄せられる苦情・要望へ対応												
				中央館・地区館で利用者アンケートを実施し、翌年度HP上で公表	中央館・地区館に加え、区民センター図書室等でも利用者アンケートを実施し、翌年度HP上で公表		毎年度末までに利用者アンケートを実施・集計⇒年度中にHP上で公表 ※中央図書館、地区図書館、区民・地区センター図書室等分(平成29(2017)～えほん図書館、令和元(2019)～図書・情報館を加える。)	利用者アンケート結果を各施設において掲示 ※中央図書館、地区図書館、えほん図書館、図書・情報館分											
26-②	企画担当係	■満足度や評価についての調査の継続	◆市民の満足度調査として、利用者アンケートを実施(年度末)◆これらについて、取りまとめた結果を公表(図書館協議会、WEB)※H23年度(2011年度)：中央館+地区図書館、H24年度(2012年度)以降：区民・地区センター図書室への導入検討(区政課との協議)	【令和3年度(2021年度)取組結果】 〇令和4年(2022年)1月にHPにおいて、2020年度の利用者アンケート結果を掲載するとともに、中央図書館、地区図書館、えほん図書館において、各施設のアンケート結果を掲示した。 〇2021年度の利用者アンケート結果を次年度の取組等に反映させるため、中央館及びえほん館、図書・情報館、地区館について年内に取りまとめをした。	【令和4年度(2022年度)取組目標】 〇引き続き、令和3年度(2021年)と同様の時期に利用者アンケート調査を実施する。	◆特色ある図書館活用取組発表(デジタルサイネージ) 	毎年度の普及事業の企画の際に、関係団体等との連携拡大を図る												
				毎年度の普及事業の企画の際に、関係団体等との連携拡大を図る	毎年度の普及事業の企画の際に、関係団体等との連携拡大を図る		毎年度の普及事業の企画の際に、関係団体等との連携拡大を図る	毎年度の普及事業の企画の際に、関係団体等との連携拡大を図る											
27-①	地域支援係	■関係機関やボランティア団体との連携拡大	◆教育機関や市他部局、ボランティア団体との連携を図り、幅広いテーマの事業を行う。	【令和3年度(2021年度)取組結果】 〈児童向け行事〉 日本ハムファイターズ読書推進全道キャンペーン(北海道主催)への参加協力 〈児童・一般向け行事〉 カルチャーナイト「密着!図書館の一日」 ※YouTubeでのオンライン 〈一般向け行事〉 感染症の影響が続き、参加者を集めての講演会は「美術への誘い」(一般社団法人北海道美術館協会との共催)1度の実施のみだった。 なお、サイエンス・フォーラムinさっぽろ(サイエンス・コンソーシアム札幌主催)は実施を見送った。 小中学校に出向いて、小中学生向けキャリア教育事業を実施したほか、特色ある図書館活用取組発表(学校教育課との連携)は、動画配信にて実施した。(中学校5校) その他、CISEネットワークと連携し、「調べる学習支援トランクキット」を学校司書配置中学校を対象に貸出(29件)。	【令和4年度(2022年度)取組目標】 〇社会の動きや市民ニーズを把握して幅広いテーマの事業を開催できるよう検討する。	●動物愛護週間絵本 ●保育園団体利用(過年) 	毎年度の普及事業の企画の際に、目的に応じて関係団体等との連携を図る。												
				社会の動きや市民ニーズを把握して幅広いテーマの事業検討・実施	社会の動きや市民ニーズを把握して幅広いテーマの事業検討・実施		社会の動きや市民ニーズを把握して幅広いテーマの事業検討・実施	社会の動きや市民ニーズを把握して幅広いテーマの事業検討・実施											
27-②	えほん図書館	■関係機関やボランティア団体との連携拡大	◆教育機関や市他部局、ボランティア団体との連携を図り、幅広いテーマの事業を行う。	【令和3年度(2021年度)取組結果】 〇幼稚園、保育園等の団体利用については、定員を半数の15人、館内閲覧のみの利用として実施したが、利用団体がなかった。 〇保)動物管理センターと連携した、動物愛護をテーマとした展示を実施した。	【令和4年度(2022年度)取組目標】 〇新型コロナウイルスの感染状況に応じて、登録ボランティア団体によるおはなし会等各種行事を実施 〇新型コロナウイルスの感染状況に応じて、幼稚園、保育園等の団体利用を実施(おはなし会付、当面定員は半数) 〇保)動物管理センターと連携した動物愛護をテーマとした展示、市)区政課と連携した戦争・平和をテーマとした展示を実施	●北海道よろず支援拠点との連携「起業実現にむけた上手な相談のしかた」セミナー 	関係団体との連携によるセミナーの実施												
				関係団体との連携によるセミナーの実施	関係団体との連携によるセミナーの実施		関係団体との連携によるセミナーの実施	関係団体との連携によるセミナーの実施											
27-③	図書・情報館	■関係機関やボランティア団体との連携拡大	◆教育機関や市他部局、ボランティア団体との連携を図り、幅広いテーマの事業を行う。	【令和3年度(2021年度)取組結果】 〇外部専門団体との連携によりセミナーを開催した(さっぽろ産業振興財団、日本政策金融公庫、北海道よろず支援拠点、北海道社会保険労務士会、北海道行政書士会、NoMaps実行委員会、男女共同参画センター、札幌市文化局など)詳細はNo.12参照 〇外部専門団体による無料相談会を2階カウンターにて毎週開催した。(日本政策金融公庫、北海道よろず支援拠点、START UP CITY SAPPORO事務局、法テラス札幌、札幌青年司法書士会)計80回開催、相談件数64件 【令和4年度(2022年度)取組目標】 〇外部専門団体との連携を深め、引き続きセミナーや無料相談を行い、利用者に相談の機会を提供する。 〇相談件数は前年と比較し1.3倍と伸びているが、開催回数に満たない実績であるため、日本政策金融公庫・北海道よろず支援拠点、札幌青年司法書士会や法テラス札幌とともに連携セミナーを開催を通じて、利用の促進を図る。また、館内のみならず、SNS等を活用した情報提供により来館を促し利用者数の増加を図る。	【令和4年度(2022年度)取組目標】 〇引き続き、「図書館との連携を核とした新たな生涯学習推進体制の方針」に沿った事業を実施。	開館準備 供用開始	無料相談窓口の継続実施とPRの促進												
				無料相談窓口の継続実施とPRの促進	無料相談窓口の継続実施とPRの促進		無料相談窓口の継続実施とPRの促進	無料相談窓口の継続実施とPRの促進											
27-④	企画担当係	■関係機関やボランティア団体との連携拡大	◆教育機関や市他部局、ボランティア団体との連携を図り、幅広いテーマの事業を行う。	【令和3年度(2021年度)取組結果】 〇第3次札幌市生涯学習推進構想での図書館の位置づけや図書館協議会からの答申「生涯学習社会の中で札幌市図書館が果たすべき役割について」も考慮に入れながら、図書館と生涯学習センターとの連携を核とした新たな生涯学習推進体制を構築していくための考えである「図書館との連携を核とした新たな生涯学習推進体制の方針」を平成30年(2018年)4月に定め、図書館と生涯学習センターとの連携した事業を開始した。 ・ご近所先生企画講座の実施「得する!やさしいお金のおはなし ～女性による女性向けFP講座～(中央図書館)」、「～日本新三大夜景～札幌夜景の魅力(中央図書館)」、「個人情報流出防止、安心のPC設定 ～誰でもできるセキュリティ対策～(西岡図書館)」、「ふわゆる健康美セルフケア教室 ～何も使わずキツくない健康づくり～(山の手図書館)」、「個性輝く!パーソナルカラー ～似合う色」で出会う-10歳の私～(曙図書館)」など	【令和4年度(2022年度)取組目標】 〇引き続き、「図書館との連携を核とした新たな生涯学習推進体制の方針」に沿った事業を実施。	第3次札幌市生涯学習推進構想策定	図書館と生涯学習センターとの連携を核とした新たな生涯学習推進体制の構築にむけた検討及び事業の実施												
				図書館と生涯学習センターとの連携を核とした新たな生涯学習推進体制の構築にむけた検討及び事業の実施	図書館と生涯学習センターとの連携を核とした新たな生涯学習推進体制の構築にむけた検討及び事業の実施		図書館と生涯学習センターとの連携を核とした新たな生涯学習推進体制の構築にむけた検討及び事業の実施	図書館と生涯学習センターとの連携を核とした新たな生涯学習推進体制の構築にむけた検討及び事業の実施											

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和3年度（2021年度））

緑色：検討 青色：一部（試行）実施 赤色：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和3年度（2021年度）の取組結果（成果・課題）		参考（グラフ・写真・ホームページ等）	取組時期（年度）														
				令和3年度（2021年度）の取組結果	令和4年度（2022年度）の取組目標		2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2	2021 令和3				
28	総務係 えほん図書館	■ボランティアの活躍の場の提供	◆ボランティア活動の活躍の場の抽出を行い、条件整理のうえ、ボランティア団体への声かけを行う。 ◆ボランティア保険の基準策定と対象範囲の整理を行う。 ◆活動の場としての環境整備を行う。	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○随時活動の場を提供した。 令和3年度(2021年度)実績 5団体に対し研修室等の貸出を行った。 ※新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため、休館や会場貸出禁止等の制限があり、使用件数は41件となった。 【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○引き続き活動の場を提供する。	【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○えほん図書館サポーターによる絵本の修理等のサポート ○ボランティア（登録団体、絵本作家等）によるえほん図書館正面入り口ガラス面の装飾	【中央図書館研修室等の貸出件数の推移】 138件 （平成28年度(2016年度)） → 41件 （令和3年度(2019年度)） ※新型コロナウイルス感染症の影響により研修室等の使用制限があり、利用が少なかった。	随時活動の場の提供を行う	課題検討・運用方針・適用範囲の整理	登録制度開始	活動実態把握、今後の関わり方の検討											
				随時活動の場の提供を行う	登録制度開始																ボランティア活動の支援・交流会の実施・活動実態把握・発信、今後の関わり方の検討
◆施策の方向性3◆ ー 将来に渡って持続可能な図書館運営 ー																					
29	図書・情報館	■都心にふさわしい図書館の検討	◆北1西1地区再開発事業として整備する「札幌市民交流プラザ」内に、札幌市図書・情報館を開設（平成30年度(2018年度)予定）するため、再開発準備組合が行う基本・実施設計との調整を進める。 ◆図書館協議会等の意見を踏まえ、都心部にふさわしい図書館の機能（対象、規模、運営体制、位置づけ等）の検討を進める。	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○令和3年度（4月～3月）の来館者数 約41万人 【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○令和4年度(2021年度)に実施する事業の詳細については、事業No4-②、8-②、12-⑤、13-③、27-③に記載のとおり。 ○蔵書については、専門家の意見を選書に取り入れることなどとして資料の充実を図る。	【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○令和4年度(2021年度)に実施する事業の詳細については、事業No4-②、8-②、12-⑤、13-③、27-③に記載のとおり。 ○蔵書については、専門家の意見を選書に取り入れることなどとして資料の充実を図る。	市民交流複合施設	施設計画の検討	整備基本計画策定	調査研究	運営計画の検討	開設準備	供用開始	再開発事業	基本計画	基本設計	実施設計	着工	工事	竣工		
				再開発事業	基本計画																
30	総務係	■計画的な施設・設備の改修	◆中央館・地区館の施設の問題点整理 ◆書庫拡大への検討・調整に伴う、施設整備計画（中央館：書庫増設や駐車場有料化の検討、地区図書館：エレベータ設置による会議室転用など書庫の配置を検討）の策定 ◆バリアフリーに対応した改修計画作成・実施 ◆保全計画など市関連部署の施策と連携した施設整備。	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○西岡図書館の電気暖房更新（工事：電気）。 ○新琴似図書館窓枠改修（設計：工事） 【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○新琴似図書館改修（工事：建築、電気、機械） ○書庫スペースの確保の関係部署等との継続検討、調整。	【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○新琴似図書館改修（工事：建築、電気、機械） ○書庫スペースの確保の関係部署等との継続検討、調整。	中央館及び地区館のトイレ改修を実施	新琴似・元町・澄川でバリアフリー化実施	書庫増設に向けての調査	書庫増設に向けての検討	中央図書館大規模改修の検討	中央館大規模改修及び地区図書館の改修の実施	地区図書館の改修の実施									
				中央館及び地区館のトイレ改修を実施	新琴似・元町・澄川でバリアフリー化実施																
31	企画担当係	■民間活力導入の検討	◆第2次札幌市図書館ビジョンに掲げるサービスを実現できるよう、民間活力の導入の効果と課題を配慮しながら、業務委託を検討していく。	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○方向性について検討を行った。 【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○市民アンケート及びニーズ調査を実施し、将来的な図書館の在り方の検討を進めるとともに、それにふさわしい運営手法についても併せて検討していく。	【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○市民アンケート及びニーズ調査を実施し、将来的な図書館の在り方の検討を進めるとともに、それにふさわしい運営手法についても併せて検討していく。	関係部署・団体との協議	関係部署・団体との協議	中央図書館カウンター業務の臨時職員化	民間活力導入拡大の検討												
関係部署・団体との協議	関係部署・団体との協議	中央図書館カウンター業務の臨時職員化	民間活力導入拡大の検討																		
32	総務係・図書館サービス係	■図書、資料の充実に向けた寄付の促進	◆図書資料の市民からの寄付喚起（ホームページや広報誌でのPR） ◆図書購入費への充当を目的とした金銭の寄付喚起 ◆図書館備品等の寄贈の呼びかけ	【令和3年度(2021年度)取組結果】 ○HP掲載により寄付喚起を行った。 ○市職員へ図書の寄贈を呼びかけ、1,496冊の寄贈を受けた。 【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○引き続きHP掲載により寄付喚起を行う。	【令和4年度(2022年度)取組目標】 ○引き続きHP掲載により寄付喚起を行う。	寄贈のおねがい	寄贈のおねがい	HPによる継続的な市民・関連団体への寄付依頼の実施	HPに加入リーフレットの作成を検討し、継続的な市民・関連団体への寄付依頼の実施												
寄贈のおねがい	HPによる継続的な市民・関連団体への寄付依頼の実施	HPに加入リーフレットの作成を検討し、継続的な市民・関連団体への寄付依頼の実施																			

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和3年度（2021年度））

：検討

：一部（試行）実施

：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和3年度（2021年度）の取組結果（成果・課題） 令和4年度（2022年度）の取組目標	参考（グラフ・写真・ホームページ等）	取組時期（年度）																	
						2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2	2021 令和3							
33	調査相談係	■職員の研修体制の充実	◆市民対応等サービス向上のための基礎的な研修の実施 ◆業務の専門性を向上する研修の実施	【令和3年度（2021年度）取組結果】 ○集合研修 新型コロナウイルスの影響で集合形式での研修は中止し、全国図書館大会山梨大会（16分科会）の動画を「スキルアップ研修」として視聴した。また、人数制限して「プログラミング教育実践者による児童サービス研修」を開催し、映像を職員に動画配信するとともに、さっぽろ連携中枢都市圏連携市町村にも案内し、希望者に配信した。 ○派遣研修 新型コロナウイルスの影響で道外で実施する研修は中止やオンライン、動画配信となり、自館での受講となった。全国図書館大会山梨大会については上記のとおり。障害者サービス担当職員向け講座、国際こども図書館児童文学連続講座、ビジネス・ライブラリアン講習会（H26年度（2014年度）からの累計25名受講済）を受講した。市内で開催された文学館カレッジに職員を派遣した。 ○フィードバック研修 新型コロナウイルスの影響で派遣研修の実績がなく、実施しなかった。																			
				【令和4年度（2022年度）取組目標】 ○集合研修では、図書館の規模に関わらず、幅広く必要な知識を身につける内容を実施する。派遣研修はそれぞれの担当の課題や必要なサービスに応じて実施し、職員の専門性を深めていく。加えて研修成果としての各館の取り組み事例をフィードバックする。 ○他機関による研修のフィードバック研修については、研修への職員派遣が実現された場合に実施する。																			

※1 レファレンス：図書館が利用者へのサービスとして行う、情報提供や参考図書の紹介などの業務。
 ※2 バスファインダー：特定のテーマに関する資料や情報を収集するための手順を簡単にまとめたもの。